

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	経営戦略論 (Business Strategy Theory)					担当教員	生島 義英 (イクシマ ヨシヒデ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型AL/資格対応 科目
	2437-2-23-042	専門科目	選択	2単位	2年次	後期		

① 授業のねらい・概要						
本授業では、企業の経営戦略についてその基本的な理論や知識について学修する。経営戦略諸理論の理解を踏まえ、企業の現状分析、戦略の構築について学修を進めていき、企業経営に対する解決策を考察することにより、社会科学に対する深く「考える力」を身につけることを目指す。あわせて「マネジメント検定試験」Ⅲ級に合格するための知識を習得する。						
② ディプロマ・ポリシーとの関連						
職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力						
③ 授業の進め方・指示事項						
【授業の進め方】 ①前回授業の振り返り ②該当範囲の授業 授業終了後、「振り返りレポート」の作成、「振り返りレポート」は、授業で習得した知識を簡潔にまとめることにより知識の定着を図る。 【指示事項】 ・授業範囲の教科書該当ページを事前に読み込み、わからないことを事前に把握する。 ・グーグルクラスルームを使用するので、使用方法を把握する。						
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能						
「経営学」・「経営組織論」・「経営管理論」・「企業論」・「マーケティング」などの講義を履修することが望ましい。						
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。						
マネジメント検定試験協議会監修・経営能力開発センター編(2023)『マネジメント検定試験公式テキスト(Ⅲ級) 経営学の基本』第7版、中央経済社						
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。						
高橋伸夫著、『よくわかる経営管理』、ミネルヴァ書房						
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)						
日々刻々と変化する企業経営の実態を踏まえ、経営戦略諸理論を理解するとともに最新具体的な事例を紹介する。						
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安						
(1) 独力で経営戦略の内容を理解・把握することにより、階層ごとの経営戦略を検討・構築することができる。 (2) 独力で企業における現状を分析し、経営課題を明らかにし、対処方法を考察することができる。						
⑨ ルーブリック						
評価基準		S	A	B	C	D
評価項目		到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1)	経営戦略内容、階層ごとの経営戦略の知識	経営戦略の内容を理解・把握することにより、階層ごとの経営戦略を検討でき、授業内容を越えた学修成果を示している。	独力で経営戦略の内容を理解・把握することにより、階層ごとの経営戦略を検討・構築できる。	資料などを参照し、経営戦略の内容を理解・把握することにより、階層ごとの経営戦略を検討・構築できる。	教員等の支援を受けて、経営戦略の内容を理解・把握することができ、階層ごとの経営戦略を検討できる。	経営戦略の内容を理解・把握が不十分で、階層ごとの経営戦略を検討できない。
(2)	企業における現状を分析と対処方法	企業における現状を分析し、経営課題を明らかにし、対処方法を考察することができ、授業内容を越えた学修成果を示している。	独力で企業における現状を分析し、経営課題を明らかにし、対処方法を考察することができる。	資料などを参照し、企業における現状を分析し、経営課題を明らかにし、対処方法を考察することができる。	教員等の支援を受けて、企業における現状を分析し、経営課題を明らかにし、対処方法を考察することができる。	企業における現状を分析し、経営課題を明らかにし、対処方法を考察することができない。

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計	
総合評価割合	85%				15%		100%	
(1) 経営戦略内容、階層ごとの経営戦略	42.5%				7.5%		50%	
(2) 企業における現状分析と対処方法	42.5%				7.5%		50%	
評価項目「その他」詳細								
フィードバックの方法	授業冒頭に前回授業内容サマリーをフィードバックして知識の定着を図る。振り返りレポートの総評をフィードバックする。							
⑪ 授業計画と学習課題								
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）						
1	イントロダクション 経営学を学ぶこと 経営資源とPDCA	授業予定該当ページの読解 疑問点の把握						120分
2	企業戦略と全社戦略① 戦略とは何か	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、授業 資料整理と復習						120分
3	企業戦略と全社戦略② 全社戦略 経営理念	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、授業 資料整理と復習						120分
4	企業戦略と全社戦略③ SWOT分析（課題）	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、授業 資料整理と復習						120分
5	企業戦略と全社戦略④ SWOT戦略 ドメイン	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、授業 資料整理と復習						120分
6	全社戦略としての成長戦略① 成長戦略 シナジー	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、授業 資料整理と復習						120分
7	全社戦略としての成長戦略② 多角化戦略(アンゾフ)・M&A	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、授業 資料整理と復習						120分
8	全社的な経営資源の配分 PPM	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、授業 資料整理と復習						120分
9	事業戦略 競争戦略（ポーター）	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、授業 資料整理と復習						120分
10	経営戦略論の時代的変遷	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、授業 資料整理と復習						120分
11	機能別戦略① マーケティング戦略の基礎	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、授業 資料整理と復習						120分
12	機能別戦略② R-STP 標的市場 4P	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、授業 資料整理と復習						120分
13	機能別戦略③ マーケティング・ミックス	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、授業 資料整理と復習						120分
14	機能別戦略④ 研究開発戦略	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、授業 資料整理と復習						120分
15	機能別戦略⑤ 生産戦略 全体のまとめ	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、授業 資料整理と復習						240分
⑫ アクティブラーニングについて								
知識定着・確認型AL / 資格対応を行う。授業中に問いかけを行い、自らが考える時間をとり、その内容を発表し理解を深める。毎回授業終了後に振り返りレポートを作成し、グーグルクラスルームを介して提出する。								

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	
昭和63年（1988年）4月から平成31年（2019年）3月まで31年間民間企業に在籍し、在籍期間中は、情報システム部門においてシステム設計と運用など、物流管理部門において新規仕組みの構築と運用改善・物流教育など、人事労務管理部門において制度設計や法令変更対応、組合との交渉など、総務部門において株主総会・取締役会の事務局運営やコンプライアンスなどの業務に従事した。実務担当者、管理職、グループ企業の取締役の経験など様々なマネジメント業務に携わった。	
実務経験と授業科目との関連性	
担当者としての実務経験や部門長として管理職経験、グループ企業での役員経験を活かし、実務経験がなく、実務を想像しにくい学生に対して、より実務的に具体的にビジネスの企画・具現化・改善などの一連のプロセスを教授することができる。現場で発生している問題など具体的な事例をもとに、課題解決策の策定などについて、興味深く説明することができる。	